

6 教育研究等

(1) 訪問教育研究会（訪問教育担当教員講習会）

ア 趣 旨

訪問教育担当教員及び、重度・重複障害児の担当教員を対象に専門的な知識及び技術を修得するための講習会を開催し、もってその指導力の向上を図る。

イ 参加者 訪問教育担当教員等 34人

ウ 期 日 平成27年7月29日（水）、7月30日（木）

エ 会 場 長野県若槻養護学校

オ 研究内容

(ア) 研究協議

テーマ（校外学習、卒業後の生活、授業づくり）別グループ討議

(イ) 研修会

「在宅療育中の子どもたちの生活と療育」

講師：長野こども療育推進サークルゆうテラス 亀井 智泉

(2) 特別支援教育研究委員会（ハンドブック作成委員会）

通常の学級に在籍しつつ一部特別な支援が必要な児童生徒の教育的ニーズに応じた教育が実施できるよう、通級による指導の内容や運営のあり方についてまとめた「通級による指導ハンドブック」を作成し、市町村教育委員会、小・中・高・特別支援学校や関係機関等へ配布し、理解啓発を図った。

7 進路指導

(1) 中学校特別支援学級進路指導研修会

ア 趣 旨

中学校の特別支援教育担当教員を対象に進路指導の基礎的研修を行うことを通して、進路指導にかかわる実践的指導力の向上を図る。

イ 参加者 中学校特別支援学級担任等 90人

ウ 期日及び会場 平成27年7月7日（火） 長野県総合教育センター

オ 内 容

(ア) 講義「中学校特別支援学級における進路指導について」

(イ) 実践発表「中学校特別支援学級における進路指導の事例」

(ウ) 協議「進路指導を行う上での課題工夫等 意見交換・情報交換」

8 障がい児(者)理解

○ 交流教育提携校

特別支援学校と 99 校の保育所・幼稚園、小学校、中学校、高等学校等とが提携し、通常の学習、運動会などの学校行事や、児童、生徒会の活動などを通して交流した。

9 研究指定校等(文部科学省委託事業)

(1)「特別支援学校機能強化モデル事業」(3年目)

県立特別支援学校全校(18校)において、各校で高められた専門性や共有化した成果を活用し、地域の小中学校等から寄せられるニーズを踏まえた上で、研修会や事例検討会、合同での教材開発などを行い、特別支援学校の専門性をさらに高め、地域の小中学校等を支援するセンター的機能を強化する研究を推進した。

(2)「高等学校段階における特別支援教育の充実に関する実践研究」(2年目)

高等学校において、個別の障がいに応じた学習活動を指導することができるよう、教育課程の特例(学校教育法施行規則第85条)を適用し、箕輪進修高等学校において、障がいに応じた特別の指導の実践研究を行った。

10 特別支援教育就学奨励費

特別支援学校に就学する児童・生徒の保護者に対して、経済的負担を軽減する目的で、特別支援教育就学奨励費を支給した。 318,410,259円 (国庫1/2以内 159,204,537円)

11 学校評議員

平成14年度から特別支援学校に学校評議員制度を導入した。

1校当たり5～8名程度 全18校に設置